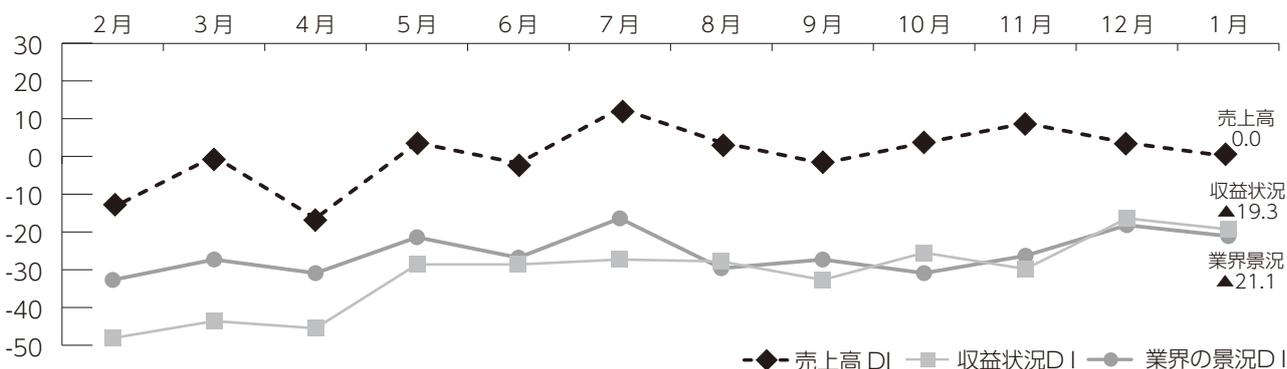


多くの業種で収益状況が悪化するも 自動車関係と小売業は改善を示す

概況

多くの業種で原材料や光熱費等のコスト上昇に対する価格転嫁が追いつかず収益状況は悪化している。一方、製造業の機械・金属では、自動車関係が好調に推移したことで収益状況と景況感が改善し、小売業でも収益状況が好転した。また、繊維業では糸不足、電気工事業では電線不足、運輸業ではドライバー不足により受注を受けられない状況との声が聞かれた。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☁☀	☁☔	☁☔	☁☔	☁☀	☁	☁☔
製造業	食料品	☁☀	☁☀	☁	☁☔	☁☔	☁☀	☁☀	☁☔
	繊維製品	☀	☁	☁☀	☁☔	☁☔	☀	☁	☁☔
	窯業・土石	☁☔	☁	☁☀	☁	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔
	機械・金属	☀	☁	☁	☁☔	☁☀	☁☔	☁☀	☁☀
	その他	☀	☁☔	☀	☁	☁☔	☁☔	☁	☁☀
非製造業	卸売業	☀	☁☀	☀	☁☔	☁☔	—	☁	☁☔
	小売業	☁☔	☁☔	☀	☀	☁☔	—	☁	☁☔
	商店街	☁☔	☁☔	☀	☁☔	☁☔	—	☁☀	☁☔
	サービス業	☁☀	—	☁☀	☁☔	☁☔	—	☁☔	☁☔
	建設業	☁☔	—	☀	☁☔	☁☔	—	☁☔	☁☔
	運輸業	☁☔	—	☁☀	☁☔	☁☔	—	☁☔	☁☔



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>[パン] 価格転嫁は概ね受け入れられているものの、コストの上昇に対する転嫁割合は15-20%程度であり、先行き不透明感が漂う。</p> <p>[めん類] 年始における商品の動きは若干の改善であった。しかし、後継者のいない組合員が廃業に追い込まれるなど景況感は悪化している。</p>
織 維 製 品	<p>[織物] 糸不足で受注があっても受けられないケースがみられ、原材料価格等が上昇するも転嫁は困難な状況が続いている。</p> <p>[インテリア関連] 売上は減少の一途を辿り、価格競争の激化を懸念している。独自の技術を活かした新分野への挑戦を模索中。</p>
窯業・土石	<p>[コンクリートブロック] 製造コストの上昇が続き、いかに転嫁するかが課題となっている。また、2024年問題によるドライバー不足の対策が急務。</p> <p>[碎石] 安中・富岡地域における西毛広域幹線道路工事の本格開始による需要の高まりが期待されるが、碎石輸送用ダンプの不足を懸念している。また、本年4月からの販売価格値上げに向けた取組みを開始している。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>[めっき] 全体的に自動車関係の受注は上向いている。粘り強く価格転嫁交渉を行う中、ニッケル等の一部金属の相場が低下しており、交渉の妨げとなっている。</p> <p>[機械金属（高崎市）] ダイハツの不正行為に伴う生産停止の影響はなく、自動車関係は好調に推移している。一方で建設関係は下降線を辿っている状況で新年度に回復を期待。</p> <p>[電機] 高圧向けの大径電線は、メーカーが受注を停止するほど需要が高まっており、入手が困難な状況にある。</p> <p>[自動車関連] SUBARU関連は部品調達問題が解消したことで、下請企業の売上は増加し、収益状況は好転した。</p>
そ の 他	<p>[紙製品] 一昨年と昨年の2ヵ年連続で原材料価格が上昇したが、一昨年の上昇分は転嫁できても、昨年はできていない組合員もみられる。</p> <p>[印刷] 価格転嫁の割合は60-70%という状況だが、今後も資材価格が上昇すれば大変厳しい。パートナーシップ構築宣言が浸透している実感は乏しい。</p> <p>[ゴム製品] ダイハツの不正行為に伴う生産停止の影響を受け始めている組合員がみられる。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>[日用品雑貨] 価格転嫁は概ね受け入れられており、販売価格は上昇し、売上は増加した。</p> <p>[食料品] 仕入価格上昇分については価格転嫁できるも、輸送コスト・光熱費・人件費分は転嫁が困難。価格競争が激化する中、転嫁を進め利益を確保することが課題となる。</p>
小 売 業	<p>[石油] ガソリン・軽油の売上高は前年同水準で推移するも、暖冬の影響で灯油の販売量に落ち込みがみられた。コロナによる行動制限のない年始であったが、車を利用した移動は予想に反して少なかった模様。</p> <p>[生花] 各種団体が開催する新年会は復活するも、受注量は全盛期とは程遠いものであった。また、1月は花の需要が落ち込む時期のため、店舗間で販売に差がみられた。</p> <p>[米穀] 能登半島地震で穀物倉庫が被災し、急激な仕入価格上昇を引き起こしている。</p>
商 店 街	<p>[前橋市] 能登半島地震による心理的な影響もあってか、正月らしい華やかな雰囲気は感じられず、福袋を抱える来街者も少なかった。</p> <p>[高崎市] 商店街に隣接するデパートのスズランが2月29日の再オープンに向け閉店した。</p>
サ ー ビ ス 業	<p>[温泉旅館] 降雪量が少ないことも影響し宿泊者数は増加した。コストの上昇に対して、宿泊単価を上げる旅館が多くみられる。また、人材確保や働き方改革の対応が課題。</p> <p>[美容] 物価高騰の影響もあってか利用者の来店周期が伸びているが、利用回数は下げ止まったように感じる。原材料・光熱費が上昇するも値上げをできない店舗が多数を占める。</p>
建 設 業	<p>[電気工事] 電線類の供給不足が続き、工期延長を余儀なくされている。3月工期の受注を見送らざるを得ない状況にある。</p> <p>[塗装工事] コスト上昇に対して転嫁が進まず、収益状況は悪化した。また、物価高騰の影響により受注量が落ち込み売上は減少した。</p> <p>[鉄骨工事] 鉄骨建設業界では、2024年問題により大幅な輸送コストの上昇が予想されており、運送業界との連携強化を重要視している。</p>
運 輸 業	<p>[一般貨物運送] ドライバー不足により、受注に対応できない案件も発生している。さらに2024年問題に伴う労働時間短縮対策として高速道路利用によるコスト増が懸念される。運賃の改定については、満足のいく結果ではないものの進んでいる。</p>

※本調査は、情報連絡員57人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。